

別表第1（第5条関係）

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	総合文化祭（田沢湖地区）補助金					
担当課係名	田沢湖公民館	課	-	係	作成者	黒澤文喜
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち				総合計画のページ 95～96
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備				
	主要施策	社会教育活動の充実				
予算費目	一般	会計	10 款	教育費	5 項	社会教育費 2 目 公民館費
事業期間	平成	年度	～	平成	年度	新規／継続の区分 継続
性質区分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理					
根拠法令等						
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運営方法	☐ 直営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象（誰のため・何を）	市民
事業の目的・意図（どういう状態にしたいのか）	市民の芸術文化活動への参加意欲を高め、発表の場を提供するとともに、仙北市の芸術文化の発展に寄与する。 学習者の発表の場の提供。
事業の内容（どのような業務、活動を行うのか）	田沢湖地区芸術文化協会を主に実行委員会を組織し、生保内市民体育館を主会場に作品展示を行う。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	開催及び準備日数	目標	日	5	5	5	
			実績	日	5	5	5	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	入場者数	目標	個	500	500	500	
			実績	人	500	500	400	
			達成度	%	100.0%	100.0%	80.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				150	150	150	
	人 件 費 (B)		—		785	807	793	
	職 員 数		—		0.10	0.10	0.10	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				935	957	943	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				0	0	0
		県 支 出 金				0	0	0
		地 方 債				0	0	0
		そ の 他				0	0	0
		一 般 財 源				935	957	943
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		187,000	191,400	188,600
		市民1人当たりのコスト(円)		—		29	30	30

【事務事業の今までの成果】

市民の生涯学習成果の発表の場として寄与することが出来た。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	他自治体でも同様に開催している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	会場が暗い。 出展していない作品がたくさんあるはずなので、宣伝及び声かけをしてほしい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	合併前の旧町村毎に実行委員会を組織して開催しているが、何か合同で出来る出来ないか話し合いが必要と思う。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

合同開催等について各実行委員会と行政との話し合いが必要。
まずは開催日を三地区同じくする。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	市内における芸術文化振興や、活動成果を発表する場として重要な事業です。今後は各地区の特長を活かし、充実を図りながら、市全体の文化祭としての開催ができないか検討が必要と考えます。

一次評価診断図

